

## よこはま動物園ズーラシア メガネグマの「マックス」が死亡しました



元気なころの「マックス」

よこはま動物園で飼育していたメガネグマの「マックス」が死亡しましたので、お知らせします。

### ○メガネグマ「マックス」

- (1) 性別 オス
- (2) 誕生日 平成7年1月30日(27歳)
- (3) 死亡日時 令和4年12月25日(日)午前8時30分死亡確認
- (4) 死因 ウイルス性肺炎
- (5) 経過 令和4年12月22日から食欲不振となりました。23日から呼吸が荒くなり、ふらつきも見られたため、抗生剤の投与を開始しましたが、状態は変わりませんでした。その後、後肢が立たなくなり、症状は悪化していき12月25日死亡を確認しました。

### ●マックスのプロフィール

平成7年1月30日にドイツのベルリン平和記念公園で生まれ、野毛山動物園を経て、平成11年2月8日によこはま動物園へ来園しました。大きい体と穏やかな性格で、手先がとても器用でした。稲わらを与えると、楽しそうにきれいな丸い形に整え、寝床を作る姿が印象的でした。来園して5年目に誕生した子どもの美雨は、マックスの孫にあたる個体(美雪、雪雄)を産み、繁殖に貢献しました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

横浜市SDGs認証制度



お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■メガネグマについて

和名	メガネグマ
英名	Spectacled Bear
学名	<i>Tremarctos ornatus</i>
分類	食肉目 クマ科
分布	ベネズエラからボリビアにかけてのアンデス山脈
生態	南米に生息する唯一のクマで、名前の由来となった鼻から目の周りや胸にかけて白くなっているのが特徴です。この白い部分の形は個体によって大きく異なり、識別するのに役立ちます。標高の高い草原地帯などにもすんでいます。主食は果実をはじめとする植物ですが、昆虫やネズミなどもエサとします。冬ごもりはしません。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)：絶滅の危険が増大している種
当園飼育頭数	4頭 (オス2頭、メス2頭) ※今回死亡した個体を含まず
国内飼育頭数	3園館7頭 (オス3頭、メス4頭) ※令和4年12月25日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) 12/29～1/1、1/4 ※1/3 は開園
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から  
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyo.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。
- ・屋外において近い距離で会話をする場合や、屋内施設をご利用の際は、マスクの着用をお願いします。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。